

フェアトレード って知ってる？

「フェアトレード」とは、「公平・公正な貿易」のことです。私たちが普段よく利用しているコーヒーやチョコレート、コットン製品、お茶、その他さまざまな製品の原材料の多くは発展途上国で生産されています。しかし、それらの国では、生産者に正当な対価が支払われなかったり、必要以上の農薬が使用され環境や健康に被害を及ぼしたりしています。そのような生産環境を改善するための取り組みが「フェアトレード」なのです。原料を適正な価格で継続的に購入することで、生産者の生活改善と自立を目指します。つまり、フェアトレード商品を選択することは、世界のどこかの誰かの生活を救うことに繋がるのです。

国際フェアトレード認証とは、国際フェアトレードラベル機構（Fairtrade International）が定めた基準に基づき、発展途上国の原料や製品が公平な条件で取引されていることを認証する制度です。

製品は原料生産から、輸出入、製造工程などの様々なプロセスを経て完成品となりますが、それらの各工程に関わるすべての組織に対して定期的に監査が実施されています。さらには生産者に対する適正価格の保証やプレミアム（奨励金）の支払い、児童労働の禁止などの基準が遵守されているのかまでチェックされているのです。



参考：フェアトレードジャパン | fairtrade japan | 公式サイト (fairtrade-jp.org)

フェアトレードは、持続可能な開発目標(SDGs)のすべての目標に貢献する取り組みです。



持続可能な開発目標(SDGs：Sustainable Development Goals)とは、2015年に国連で採択された国際目標です。地球上の「誰一人取り残さない」を基本理念とし、2030年までを期限に、持続可能でよりよい世界を目指すための、17のゴール・169のターゲットから構成されています。

SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む目標も多々あります。行政、企業、民間、市民、学生などの垣根を越えたパートナーシップで取り組んでいくことが求められています。



千葉大学×京葉銀行ecoプロジェクト～7色の虹を千葉から未来へ～

千葉大学で環境活動を主体的に担っている環境ISO学生委員会と京葉銀行が協同で、2017年から実施しているプロジェクトです。SDGsの達成に向けて、まずは「地域の環境負荷削減と環境意識向上に貢献したい」という想いで、地域の皆様、企業、学生などを含めた千葉県内の多くの方々を対象に、SDGsや環境意識の啓発活動を実践しています。



千葉市内でフェアトレード啓発活動に取り組んでいる団体のご紹介

二次元コードを読み取ると、各団体のホームページを見ることができます!!

千葉大生が実際に取材をさせていただきました。
お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました!



フェアトレード"ちば"

Q: どのような取り組みをされているのですか?

世界の人々がともに豊かになれる社会を目指し、千葉県内からフェアトレードのあるライフスタイルを広げていくことを目的に、2009年頃から取り組みが始まり、2019年に任意団体となりました。

基本的には年に一回、千葉県のフェアトレードに関する活動をされている方たちと集まり、フェアトレード月間である5月にイベントを行っています。



このようなイベントは、千葉県からフェアトレードを皆さん一人一人の生活に広げていくという目標の達成のうでいちばん大切にしている場ですが、イベントをやるだけでそれが完全に達成されるかというとそうでもありません。そのため、私たちフェアトレードちばに何ができるかを問い直しながら取り組んでいます。

Q: 今後の目標や展望を教えてください。

私たちはとても小さな任意団体でボランティアで活動をしています。これから活動を続けていくためにも、フェアトレードちばの組織や事業の在り方を問い直し、よりよいグループになろうとしています。

多様な所属のボランティア同士が協力し合い、千葉県にフェアトレードを広げていくことを楽しみ、そして成果を実感できるような場を目指しています。



公式サイト <https://www.ftchiba.net/>
取材協力 代表 成瀬悠様



Q: どのような取り組みをされているのですか?

私たちは千葉市初のフェアトレードカフェ&ショップとして、2021年12月に土気あすみが丘プラザにオープンしました。ここでは3つのフェアトレードを丸ごと体験できるという特徴があります。

発展途上国と先進国の間のグローバルフェアトレードだけでなく、ローカルなフェアトレード、いわゆる地元生産者と消費者との公正な取引、さらに、チャレンジフェアトレードという障がい者の方たちが働く福祉施設と消費者との公正な取引も推進しています。世の中ではいろいろな物が驚くほど安く売られています。しかし、正当にご評価いただき、妥当な価格で消費者の皆様がご納得し購入していただける機会が増えていけばと考えています。

このように3つの視点からフェアトレードの商品を一か所に集めご紹介し、実際に手に取っていただくことで、労働背景の理解や応援に繋げていただけるようなきっかけづくりとしてこの場所を展開しています。



Q: 今後の目標や展望を教えてください。

地域の方がここを訪れることで、その意義・意味を感じてアクションを起こしてくださる方が一人でも増えればと思います。さらに、地域の子もたちが早い段階からフェアトレードに対する意識や知識を持ち、より良い未来を目指すアクションを起こせるような環境を作るため、学びの機会として、ワークショップのような企画をどんどんやっていきたいと考えています。

公式サイト <https://www.toke-asumigaokaplaza.jp/fair-trade-cafe%EF%BC%86shop/>

取材協力
店舗運営担当
特定非営利活動法人はあもにい 長浜 光子様/足立 昭子様





Murado (モラード)

Q: どのような取り組みをされているのですか？

中東のヨルダンからオリーブオイルを購入して日本で販売するという活動をしています。千葉市では「金曜ふれあい市」「ベイタウン朝市」(次頁参照)のほか、市内各地で開催されるマルシェ等に定期的に出店しています。また、通販でも販売しています。



海外と取引する際に、現地の会社で生産したものを彼らの提示した価格で購入するということが、私たちが考えるフェアなトレードです。クオリティの高いオリーブオイルを提供したいという思いから、何度も農園に通い、コンセプトやこだわりを見聞きする中で、信頼関係も構築してきました。中東に比べオリーブオイルにまだ馴染みがない日本人に対してどのようにアプローチをしていくのかも一緒に考えて商品開発してきたので、本当にフェアでフリーな取引をしていると思っています。

Q: 活動を始めたきっかけは何ですか？

私は父がパレスチナ人で母が日本人なので小さい頃からアラビア料理を食べていますが、アラビア料理の中心には必ずオリーブオイルがあります。そこで、日本でも美味しいオリーブオイルがあったらなと思い、**保存料などを一切使用していない天然のオリーブオイル**を日本の方々に届けるために、2014年にオリジナルブランド「Murado」をスタートしました。

悲しいことに中東は誤ったイメージを持たれがちですが、実際に触れてみると面白い世界なんです。食品を通して、中東の歴史や食文化に興味を持っていただき、中東を知る一つのきっかけにいただければと思います。

Q: これまでの活動の成果や嬉しかったことは？

マルシェに出店して「このラベル見たことある！」や「この前友達からもらった！」という声を聞くと嬉しく、**私たちの知らないところで広まっていることを実感**します。

一番大きな成果は、とても信頼できるパートナーと巡り会えたことかもしれません。中東と日本とはビジネスの感覚やライフスタイルが全然違うため、取引が成立しないことも珍しくありませんが、彼らとは信頼関係を構築することができました。また、彼らが作るオリーブオイルはスッキリしながらとても味わい深く、まさにオリーブオイルのルーツの味です。この最高のオイルをぜひ多くの皆さんに味わっていただきたいと思っています。



公式サイト <https://murado.jp/>
取材協力 取締役 ハミス マヘル様



PRIYO handicrafts

Q: 取り組みの内容と心がけていることは何ですか？

PRIYO handicrafts (プリヨ ハンディクラフツ) ではバングラデシュの人々が作る製品を通販のほか、フェアトレードカフェ&ショップ等に置いていただいたり、「千葉のいいもの販売会」(次頁参照)等のイベントに出店して販売したりしています。現地で採れるジュート(黄麻から作られた繊維)などを材料として現地の人が一つ一つ手作業で製品を作っています。

私たちに**現地の人たちの生活レベル向上に貢献したい**という思いがあります。彼らの健康と環境を害するような仕事であってはならないため、彼らが生活スタイルに合った仕事を継続できるように努めています。また、製品を通して消費者である日本人たちの環境を守り、かつ他にはないユニークさもお届けしたいと考えています。**生活向上と環境**の両面は欠かせません。

Q: これまでの活動で成果として実感しているものは？

“**土にかえる**” ECO TAWASHiです。キッチン用のたわしにジュートを活用することで、日ごろスポンジから発生するマイクロプラスチックが河川や海に流れ出ている問題解決の一つの手段になりうるのではと他団体と共同開発した製品です。関心を持ってくださるお客様も多く、イベントでも「エコたわしが気になっていたのよ」とおっしゃってくださる方もいます。皆さん潜在的に「このままではいけない、何か自分でできることはないか」と探されているのだらうと、この製品を通じて感じました。

また、年1回のオンラインイベントでは、バングラデシュと中継を繋ぎ、現地の生産者の話などを通して現地の様子を皆さんにお伝えしています。「どういう状況で、どういうことが起きていて、私たちが何をしたら良いのか」ということをリアルにお届けでき、開催の成果を感じています。



Q: 今後の目標や展望を教えてください。

今、世の中にはたくさんジュートバッグがありますが、その多くは内側にラミネートが付いています。また、大変安価なものも見受けられます。本当にエコなものはラミネートがなく、そのまま埋めたら土に還るようなものだと思います。そこで、千葉市の有志の方々と共に本当にエコで、作る人も使う人も笑顔になれるジュートバッグを開発しています。製品を通じてフェアトレードを知ってもらおう仕組みを作り、千葉市を中心にジュートバッグで皆さんにフェアトレードと環境に良い製品をお届けしたいと思います。



公式サイト
<https://priyo-handicrafts.com/>
取材協力 代表 平松加代様

千葉市のフェアトレードに関する イベント&ショップマップ

千葉市内のフェアトレードに関するショップやイベント情報をまとめました!

イベント、店舗名
①開催日時、営業時間
②場所
③取り扱い商品
④おすすめポイント

ベイタウン朝市

- ① 例年2,4,6,10,12月開催
- ② 幕張ベイタウン商店街 ベイタウンコア横広場
- ③ Muradoのオリーブオイル、地元農家による野菜の販売や形が悪く出荷できなくなったお花の販売等
- ④ 地元野菜から水産加工物など、幅広く取り扱っており、ケータリングもできる楽しいイベントです。



千葉のいいもの市

- ① 2022年11月20日(日) 10:00~15:00
- ② 昭和の森公園 太陽の広場(第2駐車場近く)
- ③ 千葉県産の新鮮野菜・農産加工品・もったいない野菜・千葉市の竹炭等
- ④ 千葉の美味しいもの・素敵な作品・ワークショップ・キッチンカーなど50店が集まります!

※当イベントは千葉みなとや幕張、蘇我などでも不定期に開催されています。

金曜ふれあい市

- ① 毎週金曜日10:00~12:00
- ② 美浜区幸町の千葉ガーデンタウン管理センター前
- ③ 内下田地区の野菜、お米、豆腐、総菜、お弁当類
障害者施設「オリーブハウス」のお菓子、小物等
共同出店：パン屋、日本茶屋、Murado
- ④ 町内の方であれば無料配達を行っています。

児童向けフェアトレード基礎講座 ~作る人と使う人を笑顔にする取り組み~ 「チョコレート&クイズ・ゲームで楽しく フェアトレードを学ぼう!」

- ① 2022年12月4日(日) 13:30~16:30
- ② 土気あすみが丘プラザ多目的室
- ③ 千葉市フェアトレードタウン推進チャリティーコンサートの収益で実施する講座です。チョコレートなど身近な商品を取り上げながら、フェアトレードの大切さをわかりやすく学んでいく講座+体験型ワークショップです。
対象：小学4年生~中学生(高校生も可)
定員：40名
- ④ 参加費無料。
9月23日実施の千葉市フェアトレードタウン推進チャリティーコンサート収益金により、開催されます。

CHIBA FAIR TRADE CAFE & SHOP

- ① 月~土10:30~16:30 日10:30~16:00
- ② 土気あすみが丘プラザ1階ロビー
- ③ コーヒー・チョコレート・はちみつ・千葉県産の野菜など
- ④ 前々頁のインタビュー記事参照

オンラインショップ 株式会社Brilliant Smile (Vepy Cafe)

千葉市の農家さんの果物や野菜を使った「恋するスムージー」を作り、販売しています。千葉のイベントやオンラインショップでも購入することができます。

代表取締役 長南 由香利様のコメント
「地産地消の美味しい果物や野菜を使ったスムージーを飲んで、皆さまや地球がさらに幸せになるように心を込めてつくっています。」

